

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則および監督会議の申し合わせ事項により実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は、正面玄関東側に設ける。
- (2) 一次招集および招集完了は、競技開始時刻に対して次の通りとする。

種目	一次招集(チェック終了)		招集完了時刻	
トラック競技	60分前	招集所	10分前	スタート地点
跳躍競技	60分前	招集所	20分前	競技場所
投てき競技	60分前	招集所	20分前	競技場所

①一次招集(チェック終了)

- ・招集所において、出場する選手は○、欠場する選手は×をつける。 ※代理人可
- ・その際、トラック種目出場者は、腰ナンバーシールを1枚持っていくこと。
〔 ・4×100mRは最終走者のみ ・4×400mRは2・3・4走者のみ(3枚)
 ・3000m以上の競技者は2枚必要(右腰・胸) 〕

②招集完了

- ・4×100mRについては、各スタート場所で最終点呼を行う。
- ・代理人による最終点呼は認めない。
- (3) リレーに出場するチームは、**招集完了時刻の1時間前までに**「オーダー用紙」に記入し、招集所に2枚提出すること。
- (4) 欠場する場合は、「欠場届」に記入し、**一次招集までに**招集所に提出すること。
- (5) 多種目同時に出場する場合は、出場する時刻の早い種目の**一次招集までに**、「多種目同時出場届」を招集所に提出すること。なお、審判員にも申し出ること。
- (6) 一次招集及び招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとみなす。
- (7) 提出する書類については、招集所に準備する。

3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、各自の登録ナンバーを胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目の競技者は、胸部または背部の片方だけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーシールをパンツの右横やや後方につけること。また、3000m以上の競技者については、周回確認用として腰ナンバーシールを胸部にもつけること。
- (3) 4×100mRの第4走者、4×400mRの第2・3・4走者は、腰ナンバーシールをパンツの右横やや後方につけること。
- (4) 腰ナンバーシールは剥がれないよう、800m以上の中長距離種目の選手は、念のため上辺の左右に安全ピンを付けること。 ※招集所で配布(終了後、返却)

4 競技について

(1)トラック競技

- ①トラック競技は全てタイムレース決勝とする。
- ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空けること。
- ③セパレートレーンの競技においては決勝線通過後コーナーに沿って自分のレーンを走り他の走者の妨害をしないこと。
- ④800m競走は第2コーナーの出口までセパレートとする。
- ⑤4×100mRの第2・3・4走者は、マークを1カ所使用することができる。(マークは必ず撤去)
- ⑥4×400mRは第2走者の第2コーナーの出口までセパレートとする。

⑦男子5000mは20分、5000mWにおいては、男女共に35分を超えて 最終周に入らない場合、競技を続行できない。

(2) フィールド競技

①フィールド競技は、試技回数(走高跳・棒高跳を除く)を3投・3回とする。

②投てきの練習は、審判員の指示以外、勝手に練習しないこと。

③跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)にマークを2個まで置くことができる。

④走高跳、棒高跳の練習跳躍および試技開始の高さについては、競技役員の指示に従うこと。

⑤三段跳の踏切版は男子は10m、女子は8mの地点に設置する。

(3) スパイクシューズ及び投擲用シューズは競技規則に適合したものとし、招集所ならびに競技場内で点検を行う場合がある。

5 バーの上げ方について

(1) 走高跳の練習の高さ及びバーの上げ方次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後
男子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	+3cm
	1m55								
女子	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	
	1m35								

※練習跳躍を男子1m70、女子1m50以上で行いたい選手は、審判員に申し出ること。

(2) 棒高跳については、申告のあった高さで開始する。

(3) 棒高跳の公式練習はゴムバーを使用する。

6 競技場の退場について

(1)トラック競技は第一ゲートより退場する。フィールド競技は、審判員の指示に従って退場する。

(2) 正面入口および本部役員関前は通行禁止とする。

7 表彰について

各種目第3位までの入賞者に賞状を授与する。ただし、表彰式は行わない。

8 一般注意事項について

(1) 競技をする選手以外は、競技場内に立ち入らないこと。

(2) 大会期間中の貴重品の管理は各自行う。盗難にあっても責任は負いかねる。

(3) 軽度の負傷・体調不良等については、原則として各校で対応し、必要時応じて医務員または大会本部へ申し出ること。

(4) 集団応援は他の競技の支障のないようにすること。

9 個人情報の取扱及び盗撮防止について

(1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し個人情報を取り扱う。

なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

(2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・インターネット等の媒体に掲載することがある。

(3) 大会時の写真・動画については、ソーシャルメディア(SNS、電子掲示板、ブログ、投稿サイト、情報共有サイト等)で掲載及び配信をしないこと。ただし、団体及び個人が、事前に許可を得ている場合はこの限りではない。

(4) 撮影にあたっては、主催者の指示に従うこと。

競技開始前の練習・ウォーミングアップについて

(1) 本競技場

- ①大会準備終了後(開会式の時間帯は除く)から競技開始20分前までの使用を認める。
- ②トラック内芝エリアでのジョグ、体操、ストレッチ、ドリル等は禁止とする。
- ③ジョグはトラックの外周を使用すること。
- ④レーンの区分について
 - [周 回] ・1～2レーン・・・中長距離・競歩
 - ・3～6レーン・・・流し、リレーのバトンパス(第4コーナーは禁止)
 - ・7～8レーン・・・ハードル
 - [直 線] ・1～2レーン・・・中長距離・競歩
 - ・3～6レーン・・・短距離のスタートダッシュ(SD)等
 - ・7～8レーン・・・ハードル(JH・YH、小・中学ハードルがある場合は5・6レーンも開放)
- ⑤跳躍練習は競技準備終了後、係員の指示に従って行うこと。なお、棒高跳については、招集完了時刻まで本競技場での練習を認める。
- ⑥投てき練習は、公式練習以外禁止とする。

(2) サブトラック

- ①レーンの区分について
 - [周 回] ・1～2レーン・・・流し、リレーのバトン練習等
 - ※バトン練習は競技開始の1時間30分前から使用可(それ以外は禁止とする。)
 - [直 線] ・3～4レーン・・・ハードル(ハードル種目終了後は短距離のSD可)
 - ※ハードルの設置・撤去については選手各自で行うこと。
 - [跳躍ピット] ・1～2レーン・・・SD練習専用 ※砂場のシートは踏まないこと。
- ②跳躍練習は禁止とする。
- ③投てき練習は禁止とする。

(3) その他

- ①各種目の練習については安全に注意し、各学校の監督の責任において行うこと。
- ②大会役員から使用方法について指示があった場合は、その指示に従うこと。
- ③混雑時には、各自が周囲の安全を確認し、譲り合って使用すること。
- ④事故につながる危険性があるため、レーン内での次の行為を禁止する。

{
 - ・牽引走(トーイング)やミニハードルなどの道具を用いた練習
 - ・急に立ち止まるなどの行為、逆走、急なレーン変更等}

競技終了後の練習について

- (1) あいづ陸上競技場の利用について(正面入口ホール内に掲示)を参照しすること。
- (2) 道具等を借用する学校は、必ず受付に申請し許可を得ること。
- (3) ルールを守り、事故防止に努めること。